

平成25年度事務事業評価調書

整理番号	7	枝番	5
評価担当課	風連国民健康保険診療所 事務課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	風連国保診療所の運営			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	2	地域医療の充実
		基本事業	2	診療基盤と経営基盤の強化
		実施計画事業	2	診療施設と医療機器の整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市民がいつでも安心して適切な医療が受けられたため		
対象(何を又は誰を)	市民		
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	地域医療の充実とプライマリケア(初期診断・治療・健康管理)を担う診療所として幅広い医療サービスを提供		
意図(どのような成果を期待しているか)	被保険者の健康の保持増進、療養の給付を行い、生活の安定と福祉の向上		
事業実施主体	名寄市		
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他( )		
事業実施期間	始期	S23 年度	終期設定 有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等	国民健康保険法(昭和33年法律第192号)第82条第1項		

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 施設管理費(予算)	千円	目標	111,966	125,952	144,150	153,800	
			実績	109,039	123,501	141,388		
	2 医業費(予算)	千円	目標	18,379	18,511	15,899	18,452	
			実績	13,878	15,439	14,181		
	3 施設整備費・公債費(予算)	千円	目標	395,967	46,872	14,239	5,373	
			実績	386,568	46,335	13,785		
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳	
事業費	509,485	185,275	169,354	177,625	計	169,354
国道支出金	5,322	5,991	6,464	5,991	人件費(事業費に含む)	120,271
地方債	9,000	19,300	10,500		一般管理費	21,117
その他	5,571	4,131	5,757	5,706	医業費	14,181
一般財源	489,592	155,853	146,633	165,928	施設整備費・公債費	13,785
人件費	0	0	0	0		
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629		
担当職員数						
総事業費	509,485	185,275	169,354	177,625		
対前年比(%)	-	36	91	105	コストの算出方法	
事業コスト						
活動指標1						
活動指標2						
活動指標3						

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ( ) 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	地方自治法第244条、国民健康保険法第82条の根拠法令、関係法令をもとに設置されている。社会的にも市民ニーズ的にも必要とされている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	市民に対する適切な医療提供と24時間対応の在宅療養支援診療所の指定、予防接種から健診業務等の幅広い業務や訪問看護、がんの終末期の在宅緩和ケアなど高齢化に伴うニーズの変化に応じた取り組みを行っている。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	外来診療、24時間対応の在宅医療、施設の嘱託医等の実施による患者の増により、診療体制の充実を図るため平成24年7月から医師2人体制とし地域医療の充実による市民生活の安心、安定と福祉の向上を図っている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	関係法令による適正な料金の負担をいただいている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	プライマリケア(初期診断・治療・健康管理)を担う診療所としての位置づけにおいて、住民が安心して暮らせる一次医療を確保し、医療機能の分担と病診連携を密にしながら、適切な医療サービスの提供を継続し地域密着型の推進を図る。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	地域におけるプライマリケアを担う一次医療の診療所として、高齢化の進行により予想される在宅医療・緩和ケアの対応に必要不可欠であり、今後も継続性が必要です。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	地域における一次医療を担う診療所として、また、訪問看護や看取りなど、高齢化の進行に伴い必要不可欠な施設